

# 広島皆実高等学校 第3学年 国語科単元指導計画

## 1 単元名 小説（「舞姫」 森鷗外 『精選現代文B』東京書籍）

## 2 単元の目標

- （1）言葉の意味や表現に留意して文章を読み取ったり味わおうとする。（関心・意欲・態度）
- （2）言葉の意味や表現に即して、人物や心情、情景を的確に読み取ったり、表現効果や表現意図について考察したりしている。（読む能力）
- （3）「書き手の意図」について様々な視点から考察し、文章化している。

## 3 単元の計画（全10時間）

時	主な学習活動
1	作品の全体像と文学史的背景を理解する。 明治の文語文について理解する。 作品の構成図を資料として提示し、作品全体の概要について理解する。 「あらすじ」を各自で読解する。
2～3	全文（第1段落～第10段落）の「あらすじ」をグループで話し合い理解（共有）する。 グループで共有した「あらすじ」を、発表して全体で共有する。
4	第1段落を読解する。第1時で提示された構成図をグループで説明し合い、理解する。
5～6	第2段落～第6段落を読解する。 「疑問点」を記入し、グループで話し合い発表する。 全体で考える疑問に対する説明を考え発表する。
7～8	第7段落～第9段落を読解する。 「疑問点」を記入し、グループで話し合い発表する。 全体で考える疑問に対する説明を考え発表する。 ※ 本時（第5時～8時は「課題発見・解決学習」の授業）
9	第10段落を読解する。作品の結末と、第1段落とのつながりを理解する。
10	登場人物と自分自身をベン図で書き示し、作品のテーマについて考察する。

## 4 本時の目標と評価基準

言葉の意味や表現に即して、人物や心情、情景を的確に読み取ったり、表現効果や表現意図について考察したりしている。（読む能力）

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
1 言葉の意味や表現に留意して読もうとしている。 2 グループでの話し合いや作業に積極的に参加している。	1 言葉の意味や表現に即して、人物や心情表現を読み取っている。 2 表現効果や表現意図について考察し、お互いに説明し合っている。 3 疑問点について話し合い、全体での発表をもとに、説明を考えている。	

# 5 学習の流れ（7～8時間目／全10時間）

学習活動 (○発問・支援, ●予想される生徒の反応)	指導上の留意事項 (◇) ◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法)
<b>【導入】</b> 前時までの振り返りを行い、本時の学習内容・目標を理解する。 <b>【展開①】</b> ○第7段落から第9段落の「あらすじ」をグループで振り返り、共有してください。 ●全体で共有した内容を確認している。 <b>【展開②】</b> ○自分の疑問「みんなで考えてみたいこと」を記入しましょう。記入が終わったら、グループで伝え合い、ワークシートに記入しましょう。 ●各自の疑問を記入し、その後グループで共有している。 ○全体に発表する疑問を決め、発表しましょう。 ●各グループの発表を聞き、メモを取っている。 <b>【展開③】</b> ○各グループの疑問を整理します。そして、全体で考える疑問を設定しましょう。	◇豊太郎の自我の覚醒、エリスとの出会い、免職と母の死など前時を振り返り、ワークシートにそって学習を進めることを伝える。 ◇4名のグループであらすじを共有させる。 ◆各段落のキーワード・キーセンテンスは、授業者が音読して全体でも共有させる。 ◇疑問点を考える際の評価指標を示す。 ◇疑問をワークシートへ記入させる。  ◇個人での疑問を考えさせた後、グループで伝え合い、小説読解ルーブリックを意識して吟味させる。  ◇発表用シートに記入させ、黒板に貼り付けて発表させる。  ◇メモをとらせ、疑問の分類・整理をさせる。各グループの疑問を分類・整理し、提示する。 ◆事前に提示した小説読解ルーブリックに注目させる。	○グループでの話し合いや作業に積極的に参加している。 〔関心・意欲・態度〕 (観察) (ワークシート) ○言葉の意味や表現に即して、人物や心情表現を読み取っている。 〔読む能力〕 (観察) (ワークシート)
<b>【予想される生徒からの疑問→全体で考える疑問の設定】</b> 1 なぜ豊太郎は、天方伯の帰国の誘いを断らなかったのか。(エリスを選ばなかったのか。) 2 なぜ鴎外は、豊太郎が意識を失っている間に豊太郎の未来を決めてしまったのか。 3 なぜ鴎外は、エリスと豊太郎が将来についてきちんと向き合う場面を描かなかったのか。		
○グループで説明を考え、発表しましょう。発表はメモをとって聞きましょう。 ○全体の発表を聞いた後、それらを参考にして、今度は「自分の説明」を文章化しましょう。 <b>【まとめ】</b> 本時のまとめと次時を予告する。	◇グループでの説明原稿を書かせ、発表させる。発表された説明を評価指標に基づき評価させる。  ◇学習内容を総合的に思考させ、自分の説明を文章化させることで、思考を深めさせる。	○疑問点について話し合い、全体での発表をもとに、説明を考えている。 〔関心・意欲・態度〕 (観察) (ワークシート)

# 6 評価規準（ルーブリック）

小説読解ルーブリック	1	2	3
構成 ～ テーマ	構成をふまえず、テーマを考えようとしている。	部分的な構成からテーマを考えようとしている。	全体の構成からテーマを考えようとしている。
心情 ～ 人物	一つの心情表現に注目して人物像を考えようとしている。	複数の心情表現に注目して人物像を考えようとしている。	複数の心情表現や場面状況をふまえて人物像を考えようとしている。
表現 ～ 心情	直接的表現から心情を考えようとしている。	説明的表現から心情を考えようとしている。	比喩的表現、表現の特徴から心情を考えようとしている。

## 7 成果と課題

### 成果

生徒が主体的に活動して、自分の「疑問」をグループで活発に話し合うことができた。また、他のグループの発表を聴くことで、より多様で深い読みにつながる授業となった。

授業のスタイルを徹底させることで、生徒がスムーズに各々の意見をまとめ意見交換することができた。一方通行の授業でないことで、生徒の主体的な学びになっていた。

発表用のワークシートが工夫された使いやすく、評価指標が記されているので、疑問の作成に役立った。

### 課題

生徒から出てきた疑問の整理の仕方（ファシリテート）についての学び（研修）が必要である。

一つの単元を行うのに、時間的な余裕が必要である。

自由な読みから一つの「正しい読み」に着地できるかどうか。そもそも「正しい読み」が文学作品の場合、存在するのかどうかを、教科で共有しておく必要がある。

#### （改善策）

単元（授業）のなかを「読み方を学ぶ」ところと「それをもとに自分なりに解釈する」ところを分けて単元の展開・授業展開を行うことで、「多様で深い読み」に生徒を導くことができるのではないかと。